令和７年度 各会計の決算を認定しました



決算特別委員会において、一般会計、６特別会計、２企業会計の決算審査を行い、９月18日の本会議において認定・可決されました。



令和７年度決算のココに注目！

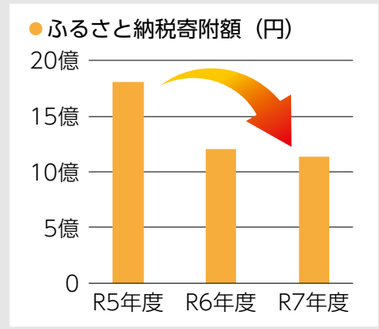
議会が注目した一般会計決算の３項目について、執行部から内容説明を受け、全議員で構成する決算特別員会で、集中的に審査を行いました。

その１　ふるさと太宰府応援寄附（ふるさと納税）について

ふるさと納税は、応援したい自治体への寄附額のうち2,000円を超える部分が、所得税と住民税から原則全額控除される制度です。

本市でも財源確保に向け、24のポータルサイトでの受付や、本市および福岡県の特産品を返礼品として送る取り組みを継続してきました。

その結果、令和７年度は約11億3,000万円の寄附をいただきました。なお、返礼品やサイト委託料などの必要経費として、約６億円を支出しています。



Q 保護者が負担する給食費（食材費負担分）はいくらか。

A 小学校は6,150円／月、中学校は7,250円／月です。

Q ふるさと納税寄附の収支額はいくらか。

A 市に残る実質額は、約４億６千万円です。

Q 寄附額が減少傾向にある理由は。

A ふるさと納税の受入額が好調な他自治体と比較して、本市独自の返礼品の魅力向上や差別化が十分に図れていない点が課題であると認識しています。

Q 太宰府市独自の返礼品の割合は。

A 返礼品の約52％が本市にかかわる返礼品です。

Q 寄附額の減少に対する拡大策はあるか。

A ポータルサイトの拡充や新たな返礼品の開発、さらには市内限定で決済・利用できる「旅先納税」などの取り組みを進めていきます。

●ふるさと納税人気返礼品

福岡県産品	太宰府産品
●辛子明太子	●梅ケ枝餅
●あまおう（苺）	●正月料理
●豚骨ラーメン	●アウトドア用品
●もつ鍋	●ペット用品



その２　中学校給食の調理配送業務委託について

本事業は、令和６年度より市内４中学校の学校給食業務（調理・配送等）を民間事業者「日米クック」に委託し、安全・安定的に給食を供給するものです。

令和７年１月に実施したアンケートでは、「満足・やや満足・普通」の回答が生徒75％、保護者90％に上り、特に保護者から高く評価されています。



日米クック給食センター

Q 保護者が負担する給食費（食材費負担分）はいくらか。

A 小学校は6,150円／月、中学校は7,250円／月です。



Q 委託先の日米クック給食センターの点検状況は。

A 栄養士（市の職員）が行っています。

その３　公共施設整備基金について

公共施設整備基金は、公共施設等の計画的な整備促進を図ることを目的としています。公共施設の老朽化に伴う今後の改修や更新、長寿命化などに備えるためのものです。

各施設の空調設備更新や照明器具のLED化改修工事などにも充当しており、近年では猛暑の影響による空調設備の設置要望が増加傾向にあります。



体育館の空調設備

Q 今後の公共施設の再編にこの基金を充当するのか。

A 基金の充当に加え、国・県の補助金やPFI等による官民連携、有利な市債の活用を検討していきます。

こんな質疑もありました！



Q 前市長のウズベキスタン訪問について、要した費用と訪問の詳細は。

A 旅費は約164万円（市長他１名分）です。令和７年６月23日～27日の日程で、ナマンガン市の視察と国際フラワーフェスティバルに招待され参加しました。

Q 今後もナマンガン市との交流を継続するのか。

A 今のところウズベキスタンへの渡航は非常に費用がかかるため、交流を継続するのは難しいと考えています。



Q 一般競争入札の対象が本市は1.5億円超だが、近隣市は5,000万円超である。この設定金額への認識は。

A 本来、入札は一般競争入札で実施すべきであると考え、近隣市の動向等を調査しつつ、今後の運用のあり方を研究していきます。